

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等 一覧

【令和5年8月15日 現在】

1 一覧の内容

・令和5年7月 5日(水) …	浅間会館	市民説明会での質問・意見等に対する市・議会の考え方
・令和5年7月14日(金) …	東会館	//
・令和5年7月18日(火) …	中込会館	//
・令和5年7月21日(金) …	浅科会館	//
・令和5年7月24日(月) …	野沢会館	//
・令和5年7月25日(火) …	駒の里ふれあいセンター	//
・令和5年7月29日(土) …	駒の里ふれあいセンター・浅間会館	//
・令和5年7月31日(月) …	コスモホール	//
・令和5年8月 8日(火) …	野沢会館	//
・令和5年8月10日(木) …	市民創錬センター	//

2 市民説明会開催までの経緯

- ・佐久市議会は、平成17年の合併以来、報酬の改定が無かったことに加え、報酬の低さが議員の「なり手不足の一因」となっているとして、平成30年から議会が自ら検討を行い、令和元年5月、議会から市長に「特別職報酬等審議会の開催」及び「議員報酬の額を改定することについて諮問(意見を求める)」の要請があった。
- ・市長はこの要請を受け、所定の手続きとして令和元年10月、特別職報酬等審議会へ諮問。
- ・令和2年12月、特別職報酬等審議会から市長に「議員報酬は諮問のあった金額のとおりとする」、「改定の時期はコロナの状況及び社会情勢を踏まえ、市長が判断する」との答申(当審議会の意見)をした。
- 加えて附帯意見として「報酬増額にあたり議会において定数削減の検討」、「議員活動の見える化の方策を進めること」との意見も付された。
- ・答申を受けた令和2年12月はコロナ禍であり、経済状況も全く見通せない状況であったことから、市長は当答申を受けた際に議員報酬の増額を「無期限凍結」とした。
- ・令和4年12月に国の示す地方財政計画において、税収がアップする予測を立てられたこと、本年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行することが示されたことから、経済状況の活発化や改善がみられると判断。
- ・市長は令和5年2月の定例記者会見において議員の報酬条例の提出は、今年の9月議会とすること、そして来年の4月から実施していく意向を表明するとともに、「報酬増額と定数削減はセットで知らせる必要がある」とし、条例案提出まで市民に説明を重ねるとした。

3 本資料は、説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しております。

4 訂正とお詫びについて

本資料【定数関係】NO,1 7月5日 浅間会館 市・議会の考え方 中
「パブリックコメント(行政機関が事前に市民から意見を求める制度)も行ってきた」と記載しておりましたが、「市民の皆様との意見交換も行ってきた」に訂正いたします。
誤解を招く表現をいたしましたこととお詫び申し上げ、訂正いたします。

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等

【報酬関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
1	7月5日	浅間会館	報酬	なぜ議員報酬を上げる(上げたい)のか。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年の合併以来、18年間報酬が据え置かれており、報酬の低さが議員の「なり手不足の一因」となっているとして、令和元年5月、議会から市に「特別職報酬等審議会の開催」及び「議員報酬の額を改定することについて諮問(意見を求める)」の要請があった。 ・市は所定の手続きとして令和元年10月、当審議会へ諮問を行い、令和2年12月に当審議会から報酬を増額することが適当であるとの答申(当審議会の意見)を受けた。 ・国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。 ・議会議員は、自衛官や警察官、裁判官などの公務員と同じく、主権者である国民の皆さんから、公平で公正な判断を求められており、経済的な安定を整えておくことが重要であると考えます。 	市	
2	7月5日	浅間会館	報酬	議員報酬は市民と比べたら多いと思うが、他の自治体に比べて低いという理由で金額を上げるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・権力・権限(市民生活への影響力)を持つ議会議員や市長は一定の経済的基盤が必要と考える。 ・報酬金額については、特別職報酬等審議会でも令和元年5月に議会が当審議会への諮問を求めた金額が適当であると令和2年12月に答申を受けている。 	市	
3	7月5日	浅間会館	報酬	報酬の計算方法などの根拠を示したうえで決定した方が適正性があると思う。 市の考え方を問う。	<p>議員報酬金額は議会から市に増額の要請(金額を提示)があり、特別職報酬等審議会に諮問し、答申を受けた金額である。また、市では議会側からの要請で特別職報酬等審議会を開催しており、報酬を算定をすることはしない。 (市に示された金額：議会において全国・県内の同規模自治体議会の報酬等を参考として金額を提示した)</p>	市	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等

【報酬関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
4	7月14日	東会館	報酬	現行の報酬を年額とした場合はいくらか。	令和2年11月の特別職報酬等審議会において、約5,825,000円と説明している。	市	
5	7月14日	東会館	報酬	報酬を増額した場合、年額はいくらか。また、月額の場合は何ヶ月分となるのか。	令和2年11月の特別職報酬等審議会において、報酬を増額した場合の年収は、約6,759,000円になると説明している。 また、単純に月額で割り返すと約16.7ヶ月分となる。	市	
6	7月24日	野沢会館	報酬	報酬と定数の改定に係る市民説明会の開催、手続きを踏むとした理由の一つに、地方財政計画において令和5年度は税収が上がることだが、どのくらい税収が上がるのか。	令和4年12月に国が示した地方財政計画では、令和5年度の税収は上がると予測しており、地方財政計画からすると佐久市の市税では約2億円のアップとなる見込み。 今年度の第1四半期(4～6月)は、前年同期に比べて税収が上がっていることが確認できている。	市	
7	7月24日	野沢会館	報酬	特別職報酬等審議会は平成29年に開催され、その後令和元年に開催されているが、その間の期間が短いのは、何か特別な理由があったのか。	議員報酬を上げる際には、特別職報酬等審議会の意見を聴くこととなっていることから、議会からの求めに応じ、開催した。 前回の平成29年の開催から、次の特別職報酬等審議会の開催(令和元年)を求められた期間が短かったため、短期間での諮問となった。	市	
8	7月24日	野沢会館	報酬	平成29年の特別職報酬等審議会では、各種団体推薦の委員が6名、公募委員が4名であったが、令和元年では、各種団体推薦の委員が8名、公募委員が2名(2名減)となっている。審議会の公募委員は、市長の考えで少なかったのか。公募委員が減員となる案を市長が決裁したということは、市民の声を聞かないという意味ではないか。	特別職報酬等審議会の委員構成に、市長の恣意的なものは入っていない。 (公募委員が4名から2名になった理由:当日未回答) 特別職報酬等審議会は、条例に基づき、委員10名をもって組織するとしており、諮問の都度、委員を任命している。令和元年の特別職報酬等審議会では、議会から示された議員報酬の妥当性について、専門的な視点から議論ができる委員構成とする必要があるため、佐久市審議会等の委員の公募に関する指針に基づき、公募委員は全体の2割を確保しつつ、新たに社会保険や税といった視点等について、社会保険労務士団体及び税理士団体等から専門知識を持つ委員を加えた。 参考：委員構成は、1 識見者(元公平委員)、2 市民代表(区長会推薦)、3 女性代表(女性団体推薦)、4 生活費(社会保険)の知識(社会保険労務士団体推薦)、5 生活費(税)の知識(税理士団体推薦)、6 経済状況(商工業)の知識(商工会議所推薦)、7 経済状況(農業)の知識(農協推薦)、8 労働と賃金の知識(連合長野推薦)、9 公募委員(2人)の10人。	市	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等

【報酬関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
9	7月25日	駒の里 ふれあい センター	報酬	報酬の算出にあたり、県下19市の議員一人当たりの人口比を比較したのか。 報酬の算出根拠を教えてください。	県下19市の議員一人当たりの人口比は算出していないが、令和元年10月の特別職報酬等審議会提出資料において、全国の人口規模類似団体の比較をしており、県内では、飯田市4,462人、安曇野市4,457人、佐久市3,821人となっている。例えば、当市議会の議員定数を24人とした場合、議員一人当たりの人口比は318人増加し、4,139人となる。 次に、報酬の算出については、市議会において議員の活動量を市長と比較して報酬を試算することや、全国の人口規模類似団体との報酬比較等を行い、算出根拠としている。	議会	
10	7月25日	駒の里 ふれあい センター	報酬	月額報酬のほかに、色々なものが加わって年額となる。 こうした内容も明らかにしてもらいたい。	・No. 6と同じ ・年収は額面金額であり、実際はここから税金などが控除されて支給される。 ・期末手当(年額) = 報酬月額 × 加算割合(1.4) × 支給月数(3.35月) (佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例第4条) 令和5年7月29日以降の説明会資料に上記説明を追加しました。	市	
11	7月29日	駒の里 ふれあい センター	報酬	特別職報酬等審議会の答申のとおり、議員報酬を上げた場合、1,000万円程(報酬を上げ、定員を2名減とした場合)、増えると思うが、その予算はどう考えているのか。	一般財源からの支出となる。 一般財源は国からの地方交付税交付金や市民の皆様からいただく税等で構成されている。	市	
12	7月29日	浅間会館	報酬	増額後の報酬額は妥当であるし、もっと上げてもいいとも思うが、議員の活動の内容がよくわからず不透明であるため、報酬を上げる条件として、議会の見える化にもっと力を入れてやってもらいたい。	議会活動の見える化については、まずは議員個人の活動を活発化させていくことが一番だと考えている。 また、市議会の総体としては、出前議会報告・意見交換会を通して住民との対話を進めていくことや、現行の広報モニター制度を議会モニター制度として拡充することで、本会議や委員会の傍聴を通して評価していただき、モニターの皆様と議員とで討議しながら議会への住民参加を促すことを検討している。 こういったことから、見える化を進めていきたいと考えている。	議会	
13	7月29日	浅間会館	報酬	長野市、松本市、上田市等を参考に、議員報酬は市長報酬の45%前後にすることが良いのではないかと。	今回は、議会から市に増額の要請(金額を提示)があり、手続きを進めてきている。貴重なご意見として何う。	市	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等

【報酬関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
14	7月29日	浅間会館	報酬	会計年度任用職員の給与の改定や給食費無償化等の取組むべき課題がある中、議員報酬を先に上げようとするのは問題ではないか。	会計年度任用職員は、最低賃金の改定や人事院勧告に合わせて見直しを行っているが、議員報酬については、合併後、一回も改定してない。 給食費無償化等の課題については、別の場面で議論を深めた方がよい。	市	
15	8月8日	野沢会館	報酬	報酬の改定時期は、来年4月ではなく選挙後の令和7年でも良いのではないか。	議席のことだけを考えると、ご質問のとおりである。しかし権力・権限を持つ議会議員や市長は一定の経済的基盤が必要と考える。また、特別職報酬等審議会からの答申をできるだけ早い段階で遵守することにおいて、国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。	市	
16	8月8日	野沢会館	報酬		報酬については全国の人口9万人台の都市が27市あり、その中で人口は佐久市が第1位だが報酬は26位で下から2番目という事実があるため、報酬改定の条件が整ったところでの速やかな改定をと考えている。	議会	
17	8月10日	市民創錬センター	報酬	報酬アップの条例の提出者は市長なのに、なぜ提案は議会なのか。また、なぜ無期限凍結を解除したのか。	議会が何もアクションをしていないのに、市長が報酬を上げることは控えるべきであり、議会が発議して、特別職報酬等審議会の意見を聞いて、それに従うというのがあるべき姿であると考え。 特別職報酬等審議会から報酬を増額する答申が示され、本来は遅滞なく行うべきだが、当時はコロナ禍であり、議員報酬アップは理解が得られないと判断し、無期限凍結とした。国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。	市	
18	8月10日	市民創錬センター	報酬	前々回の特別職報酬等審議会の答申から2年ほどで次の審議会の開催を要請したが、失礼だとは思わないか。	前々回の特別職報酬等審議会の中で報酬についてはきちんと論議していただいたので、その結論は尊重したいと思っているが、報酬の増額は、現在の議員のためだけではなく、多くの市民が将来議員に立候補できる環境を整えることも私たち議員の使命だと考えている。このことから、今回の特別職報酬等審議会では、具体的な報酬額をお示しして、再度諮問をお願いした。	議会	
19	8月10日	市民創錬センター	報酬	報酬が増額されることについて、議員としてどのように考えるか。増額する報酬の総額と、定数が2名減となる分の報酬総額を比較すると、市の財政負担は増すが、そのことについてはどう考えるか。議員の皆さんは市の財政負担が増えないようにとは考えないのか。	報酬は多くの市民の方が議員になりたいと思うための一つの重要な要因であると考え。議会費の総額は多いわけではない。報酬に見合った働きに努めていく。	議会	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【定数関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
1	7月5日	浅間会館	定数	議員定数の方針を決めた説明の中にアンケートの数が多かったとあったが、それを参考に決定することは適正か。議員定数の考え方とは。	議員定数は明確な基準が無い。人口、面積、財政規模などを考慮し、市民の皆様との意見交換も行ってきた。アンケートはあくまでも参考の1つであり、方針決定は適正と考える。	議会	
2	7月5日	浅間会館	定数	今回改定する議員定数を妥当なものとする理由は何か。もっと減らして20名ぐらいでも議会活動ができるのではないか。その辺を議論いただきたい。	議員の定数減は議員の権利が減少すると思われるかもしれないが、むしろ市民の権利が縮小するものとする。(議員が減ることは、市民の声が行政に届けにくくなる・チェック能力の減少の可能性もある)市民の権利に関わることから、市民の皆さんが正確に知る必要があり、知らないことのないよう、説明会を開催している。	市	
3	7月5日	浅間会館	定数		過去には34人だった議員を2回減じてきている経過がある。同じ10万人の人口規模でも面積が小さい自治体もある。佐久市は面積が約420km ² と広く、そのようなことも考慮した上で、議員定数24人という方針としている。	議会	
4	7月14日	東会館	定数		定数を2名減とする議論は、説明会資料のとおり行ってきた。議会活動は支障なく行えると考えている。	議会	
5	7月14日	東会館	定数	定数が2名減となることは、議論されたのか。また、議会活動に支障はないのか。	定数が2名減となった場合の影響は、定量的に説明することは困難。しかしながら、例示をすれば、前任期中に県議会議員に立候補するため、2名の議員辞職があったが、この2名は年4回の定例会で毎回質問しており、そのことから、行政へのチェック機能はパワーダウンしたと言えるかもしれない。	市	
6	7月14日	東会館	定数	市議会の人数が多いのか、少ないのか良く分からない。県外から人が流入しており、こうした活動をしてもらうのなら、議員は何人いても良い。	どこを参考に議員定数を決めるのかというと、同規模の市町村を参考にせざるを得ない。人口増や経済が活発になった際には定数を増やすという議論もある。ご意見は大切にし、しっかり受け止めさせていただきたい。	議会	

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
7	7月14日	東会館	定数	令和2年から令和5年にかけてはコロナ禍であり、平時というより有事であった。このときに定数の議論がされていたようだが、コロナ禍の不安定な時期に定数の議論をしたことに対して、どのように考えているか。	令和2年より前から、市民の皆様との意見交換を行うなど、議論を重ねてきた(※)。特別職報酬等審議会の答申のタイミングがコロナ禍となってしまったが、慎重な議論を尽くしてきた。 ※…資料:佐久市ホームページ→市政情報→情報公開→令和元年度審議会等の会議結果一覧→佐久市特別職報酬等審議会10月1日会議資料をご覧ください 【市HP掲載ページアドレス】 https://www.city.saku.nagano.jp/shisei/johokokai_hogo/shingikai_kaigi/h31kekka.html	議会	
8	7月14日	東会館	定数	近年、特に町や村などの地方議会議員の立候補者が定数に満たず、無投票となっている例がある。佐久市においては、今後どのようになっていく認識でいるのか。	令和3年の市議会議員選挙は立候補者数が定数を超えなかったため、無投票となった。 今後の予測は難しいが、多くの人に出馬してもらうことにより、活発な議会となり市のチェック機能も果たされるので、議会に関心を持ってもらえるように、引き続き議会の見える化に努めていく。	議会	
9	7月14日	東会館	定数		急激に立候補者が定数を大きく上回ることは、一般的に考え難い。 平成9年の佐久市議会議員選挙投票率は82%であったが、本年4月の県議会議員選挙で佐久市の投票率は47%であり、政治への無関心が急激に進んでいる。 昭和36年以降、令和3年の市議会議員選挙で初めて無投票となった。 今後定数を割るような可能性も否定できない。	市	
10	7月18日	中込会館	定数	議会や議員の活動が見えにくいという声が聞かれるが、議員としてはどう考えているか。 また、その対策としてどのようなことをしているか。	議員として議会の見える化をテーマに掲げて活動している。これまでも議会だよりのリニューアルや各会派の会報の発行、議会の傍聴の呼びかけなど実施している。 今後の対策として、SNSを活用して議会の情報発信を計画している。また、本会議は佐久ケーブルテレビ等で放映されているが、常任委員会の審査状況は見えにくい部分であるので、伝えていけるよう調査研究していきたい。	議会	
11	7月18日	中込会館	定数		今、議会は基本的に3月、6月、9月、12月に定例会を行っている。 定例会では約1カ月間、提出した議案を説明し、質問を受け、そして委員会審議を経て、本会議で議決し、これをもって予算執行ができたり、条例がその効力を持つこととなる。緊急の予算執行の場合、例えば災害が発生し、直ちにお金を使わなければならないが、議会を開くいとまが無いので、議会の議決を経ず、市長の責任で予算を執行する、専決という方法も行っている。 議員活動が見えにくい対策として、通年議会があると思う。 招集して明日議会を開く、いつでも議会に審議をしていただける状態が通年議会である。専決ではなく、市民の皆さんに理解されやすいよう、しっかり議会の審議を経ていくことが議員活動の見える化に繋がるものと考えている。	市	

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
12	7月18日	中込会館	定数	議員の立候補者が少ない理由は、議員報酬だけの問題なのか。または、議員になる魅力が無いのか。立候補者を増やす対策を考えているか。		議会	
13	7月21日	浅科会館	定数	議員報酬が少ないということ以外にも議員のなり手が少ない要因がある。年代ごとで意識が異なると思うが、その分析が甘いのではないか。政治に関心が無い人たちは、政治のことよりも自分の生活で目いっぱいであるということ、また外国では子供たちが学校で政治論議が始まる場所もあるが、日本の学校ではそうならないという分析も必要である。まずは家庭から、政治に目をむけていく必要がある。	若い人たちに関心を持ってもらうという点では議員報酬のアップは大きな要因になるが、それをもって立候補者が増えるというわけではないと認識している。議会では常に議会改革に取り組んでおり、自分も議員になりたいと思えるような議会活動を追及し、議員の魅力をもっと発信できるよう努めている。また、議会では、市民の皆さんに議会活動を知ってもらうため「議会手引書」を作成している(※)。議会に興味や関心がある人には是非ご覧いただきたい。 ※…インターネットでの検索キーワード:「佐久市議会手引書」と入力し検索してください 【市HP掲載ページアドレス】 https://www.city.saku.nagano.jp/shigikai/others/7120200820112451309.html	議会	7月21日浅科会館のご発言は、ご意見としてお伺いいたします。
14	7月21日	浅科会館	定数	女性議員を多くするための方法や女性の意見をまとめて、生かす方策があったら教えてほしい。(質問用紙にて提出された)	国では、議会議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を施行した。 現在の佐久市議会の女性議員比率は19.2%となっており、市民に身近な問題を議論する市議会への女性の参画は大きな課題の一つとなっている。 そのような中、本市議会では、令和3年第1回定例会において、女性を始めとする多様な人材の議会への参画を促進する環境整備の観点から、市民が議員として活動するに当たっての制約要因の解消に資するため、会議規則の一部を改正し、本会議や委員会への欠席事由として、育児、看護、介護、配偶者の出産補助等を明文化するとともに、出産について産前・産後期間に配慮した規定の整備を行ったところである。また、同年11月には、市議会議員の通称及び旧姓使用を可能とする規程を制定した。今後も、政治は男性のものという意識の改革、議員活動と家庭生活の両立など社会の意識や環境整備に努めていく必要があると考えている。	議会	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【定数関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
15	7月24日	野沢会館	定数	特別職報酬等審議会の際にある議員から報酬増額の理由の一つに「選挙費用の積立て」が挙げられた。あつてはならない発言だと思うが、いかがか。	どういった経緯での発言かを確認の上、お答えする。 (確認後) 令和元年10月1日の第1回特別職報酬等審議会の際に、審議会委員の「議員報酬が多いか、少ないか」の質問に市議会議員が答えたもので、議員は報酬のうちから他自治体との交流会費や研修費、書籍の購入費、地域行事の参加費、慶弔費、市民相談の際のガソリン代、次の選挙費用の積立て、住宅ローン、子どもの教育費などを支出しなければならないことから、生活していくには厳しい状況にあることを訴えたいがための発言であったものと思われる。	議会	
16	7月24日	野沢会館	定数	定数を考えて、その部分の報酬を上げるというならば賛成するが、定数がないというのであれば、定数を作っていたきたい。飯田市との面積から比べれば、議員数はもっと減らしてもいいと思う。	議員定数は明確な基準が無いが、人口、面積、財政規模などを考慮し、市民の皆様との意見交換も行ってきた。また、同規模の市町村の議員定数も参考にしている。これらのことを考慮した上で、議員定数24人という方針としている。	議会	
17	7月24日	野沢会館	定数	議員の報酬と定数の削減を、そもそも一緒に考えるというのは問題だと思っている。議員定数を減らすというのは民主主義の危機であり、安易に定数を減らすということに流れないでほしい。	ご意見と同様に、議員報酬の増減と議員定数との絶対的な関係性は無いと考えている。ただし、諮問に対する答申に「報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい」との附帯意見があるため、今回に限っては不可分だと思っている。答申を尊重し、議会における議論の結果、定数2減としたことは冷静な判断だと考える。	市	
18	7月29日	駒の里 ふれあい センター	定数	議員は、市民の声をどれだけ聞いているのか。	市民の皆様との意見交換の場としては、個人又は会派で各地に出向き意見交換をしている。議会全体としても年1回は必ず、議会報告・意見交換会(議会と語ろう会)を開催している。また、希望があれば、議員が出向いていく、出前議会報告・意見交換会も行っている。	議会	
					議員活動で、市が大きな影響を受けた例として、手話言語条例の制定がある。議員が勉強会を重ね、議員発議により県内では初となる条例を作成し、制定したと認識している。	市	

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
19	7月29日	駒の里 ふれあい センター	定数	定数に関しては現状のままとし、 少なくするという状況ではない。 パブリックコメントの意見募集期間 はガイドラインでは1カ月程度の期 間としており、最低でも2週間確保 するとしているが、この扱いが雑 になっている。意見提出数が少な かったり、各種アンケートの回収率 が低い状況のなかで、まずは市民 からの意見をより多く聞く対策を 講じることが必要である。その上 で定数については、市民意見を聴 取し、改めて協議、検討していただ きたい。	議員定数については、意見交換をしてきた中で、定数を減らさなくてもよいという意見もあったが、削減したほうがよいという意見が多かった。そのような中で議員間で協議し削減することとした。 市民からの意見については、きちんと聞いて反映できるよう努めていきたい。	議会	
					パブリックコメントの意見募集期間は佐久市市民意見公募手続ガイドラインにおいて決まっているので、その運用について、改めて職員に指示する。 また、市民の皆様ご意見等をお聞きするための新たな手法として、具体的なまちづくりを進めるうえで市民が定期的に集まって議論を深めていくワークショップという手法にも取り組んでいるところである。	市	
20	7月29日	浅間会館	定数	議会の3常任委員会を最低必要限度機能させるには、定数を減らしすぎてしまうと、深い議論ができなくなる懸念がある。1回やってみて、うまくいかなかったら定数をまた増やせば良いのではないかと思う。	市議会の審議は、常任委員会で深い議論をし、その結果を本会議に報告していることから、定数を減らしすぎてしまうと深い議論ができなくなる恐れがあることは認識している。他町議会でも、一度減らした議員定数をまた増やしたという例があるので、ご意見として伺う。	議会	
21	7月31日	コスモ ホール	定数	報酬増額と定数削減の改定がなぜ 同じ時期なのか。また、前任期中に 県議会議員に立候補するため、2 人の議員辞職があり、24人でも運 営できたとの話があったが、運営 できたからといって民意が反映で きたとは言えないのではないか。 まず報酬を増額して、その結果を 見ながら定数を改めて議論するの が良いのではないか。	NO, 17と同じ	市	
22	7月31日	コスモ ホール	定数	報酬増額と定数削減の改定がなぜ 同じ時期なのか。また、前任期中に 県議会議員に立候補するため、2 人の議員辞職があり、24人でも運 営できたとの話があったが、運営 できたからといって民意が反映で きたとは言えないのではないか。 まず報酬を増額して、その結果を 見ながら定数を改めて議論するの が良いのではないか。	特別職報酬等審議会答申の附帯意見を議会としても尊重し、議員定数の削減について検討してきた。民意を反映するためには、ある程度の人数は必要だという点についても議論を重ねてきた。明確な定数の基準がない中、様々な観点から検討を重ねてきた。	議会	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【定数関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
23	7月31日	コスモホール	定数	無投票となった前回の選挙について、新型コロナの影響で立候補を見送った人もいないか。この点についてどう考えるか。	前回の選挙が無投票となった原因には、新型コロナウイルスの感染状況も影響はあったものと考えられる。一方で、これまでの過去20年間の選挙立候補の推移をみると、コロナの影響だけでなく、不活発になってきている傾向はある。	市	
24	7月31日	コスモホール	定数	現在、報酬月額約35万円で定数は26人。増額後は約40万円となり、定数を23人で考えるとトータルの経費は同じくらいになるが、定数を23人とする議論はされてきたのか。しっかりと説明するべきだ。	人件費総額や定数23人も含めて様々な観点から議論を重ねて検討してきた。財政負担が増えないように定数を考えるというのも一つの考え方だが、定数を減らすことは市民益にも影響を及ぼすことから、総合的に勘案して検討を行った。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	議会	
25	8月8日	野沢会館	定数	定数は明確な根拠がないと言っているが、佐久市は面積が飯田市よりも狭く安曇野市よりも若干広い程度、飯田市が定数23人、安曇野市が22人ということを考えれば、佐久市は定数を24人ではなく23人でも22人でも、先日(7/24野沢会館で)言ったが定数20人でもいいのではないかという考えがあるが、いかがか。	面積だけの比較ではなく、地域性や成り立ちなど、総合的に勘案し、全国と同規模自治体の報酬との比較や、議会の委員会構成として1委員会7~8名が適しているとの考え方もある。また、市民アンケートや、市民の皆さんとの意見交換会などを通して、議論し検討の結果、佐久市は24人という数字が導き出されたと考えている。	議会	
26	8月8日	野沢会館	定数	定数は明確な基準がないと過去の回答にも書いてある。なぜ基準を作らないのか。作ろうと思わないのか。	全国的にもそういった基準がない中で、早急に基準を作りあげるということは難しい面があると考えている。	議会	
27	8月8日	野沢会館	定数	(市長の「権限がある者の一定の経済的基盤を安定させるという意味が報酬アップであると判断した」との発言を受け) 議員にそんなに権限を与えたら独裁政治になる。主権は市民にあるということを頭に入れてもらって、検討してもらいたいと思うが、いかがか。	議員の権限という話について、議会というのは議決権があり、いわゆるチェック機能がある。もう一つは政策提言。この2つが2大機能と言われているが、特に議員数が減ってしまうと地域の声も反映されなくなることがデメリットと言われているので、議員の資質向上、議会改革を進めながら努力していきたいと考えている。	市	
					議会の定数は、かつて法定定数という基準があり(平成11年の地方自治法改正まで)、人口によって決められていた。しかし、消滅可能性都市(若年層の流出やそれによる人口の減少・少子化により、最終的には消滅してしまう可能性がある市区町村)において、仮に人口が半分になったら議員の数も半分でいいかとなると、人口だけでは決められないという話になり、それぞれの地域の事情を勘案して定数は決めていこうということになった。なお、現状において議員定数は条例で定めているが、基準は無い。		

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
28	8月8日	野沢会館	定数	<p>今日の説明は、定数を24人に削減するということと理解したが、もともと定数を考えてくださいというのは、報酬を上げると予算が増えるということになり、その中で本当に今の26人という数が必要なのかどうか一考してください、ということの提言と考えている。減らすことについて議論することではなく、本当に今の26人が必要なのか、その根拠がやはりまだ伝わってきていない。なぜ24人にしたのか、26人が必要ならこういう理由で26人が必要、それをお示しいただければよかったと思う。それが24人でなぜ間に合うのか、なぜこの人数ならやっていけるのか、この人数ではまずいのかなど、その辺の根拠を示していただいて、市民が納得するものをお示しいただけるとありがたい。</p> <p>活動が見えないということ、26人がそれなりの仕事をしてくださっているのだろうか、その間いの中から議論してほしい、考えてみてほしい、ということが本質だと思っている。</p>	<p>ご指摘の通り、明確な基準が見えないというところはあるが、ひとつの一般論として多くの議会が採用しているように、10万都市くらいだと1常任委員会当たり7~8名の議員が必要と考えた。委員長は審議を進めるため発言ができないという状況であり、6~7名で審議しなければならない。また、各議員の経験値も勘案すると、最低7名は必要である。たくさん議員を減らすと大変厳しい状態になると思う。一般論だけではなく、市民アンケートや、市民の皆さんとの意見交換会などから導き出してきており、明確な基準がない中で我々が考えた結論が24人である。</p> <p>見える化については個人の活動を情報発信するなど努力していく、議員の資質を上げていく 議会改革を進める、こういったことでしっかり市民の皆さんの声に応えられるように考えている。</p>	議会	
29	8月8日	野沢会館	定数	<p>以前、定数の改定については出来レースなのかと議会事務局に聞いたら、まだ決まっていはいないと言われた。議員定数24人ということを検討することはないのか。</p>	<p>本日は、議会において議員定数をなぜ24人にしたかということの検討の経緯を説明した。定数条例の改正は9月定例会に議会運営委員会として議案を提出して、議決を持って決める予定であり、議案として提出していくのが26名から2名減の24名としていくということ。現状においては決定しておらず、9月議会の本会議において決定することになる。議員定数が24人に決定したということでの説明会を行っているのではない。</p>	議会	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【定数関係】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
30	8月8日	野沢会館	定数	市民アンケート1,000人の中に私は入っていない。1,000人の中で44%の回答しかないというのをおかしい。やるなら全市民、18歳以上の有権者から回答をもらうべきと思うがいかがか。	アンケートにかかる経費を勘案したり、集計作業もあるので、市民意見の一つのサンプルとしてアンケートを行った。アンケートだけで全て決定しようとしたのではなく、アンケートも参考にし、市民の皆さんとの意見交換会も行い、皆さんの意見をお聞きする中で、定数何人が良いのか協議してきた。分からないという市民の方からは、議員さんが協議して決定してよいのではという意見もあった。アンケートについては無作為に抽出して行ったものであり、市民意見聴取の一つの方法ということでご理解いただきたい。	議会	
31	8月8日	野沢会館	定数	アンケートを無作為にとはどのような方法で行ったのか。	住民基本台帳の18歳以上の方の中から、コンピューターを使い人口比(性別、年齢別、地区別)で無作為に対象者を抽出し、紙でのアンケートを郵送する方法により行った。	議会	
32	8月8日	野沢会館	定数	一番はバランスの問題とと思っている。偏るところはいろんな方がいろんな方法で市民の声を伝えていただいで決めてもらうことが一番重要。組織票のある方だけが集まるということも危惧するし、そのためにこういう人数が必要なんですよというところをお示しいただければ、市民は納得すると思っているので、議会の中でその辺を踏まえて議論してもらえればと思う。	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。	議会	
33	8月10日	市民創練センター	定数	報酬と定数は別問題。なぜ、飯田市議会、安曇野市議会の22人、23人との比較にならないのか。議員が少なくとも議会としての役割を果たしている。定数が多くなっても少なくなっても市民のための議会となってほしい。	NO, 25と同様 「定数が多くなっても少なくなっても市民のための議会となってほしい。」につきましては、貴重なご意見として承ります。	議会	
34	8月10日	市民創練センター	定数	大正大学の江藤俊昭教授を講師として議員定数に関する研修を行ったようだが、なぜ定数の基準が作れないのか。	江藤教授自身も定数については答えのないテーマとおっしゃられていることから基準は作れないと判断した。基準のない中であらゆる視点から協議・検討を行ってきた。次世代に渡していくためにも、立候補しやすい状況を作っていく必要があると思っている。	議会	
35	8月10日	市民創練センター	定数	女性議員を増やすため、女性の定数割合が一定程度確保されるクォーター制を条例で定めてはどうか。	女性の意見を聞いていくことは必要である。しかしクォーター制について条例で定めることは市民の皆様の自由な選択を阻むことになり得るため、難しいと考える。	市	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【その他】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
1	7月5日	浅間会館	その他	説明会は、今後も区長会の市政懇談会前に実施するだけなのか？	7地区の市政懇談会の前に行う説明会と、説明会のみ休日・夜間に実施する説明会がある。 ○各地区市政懇談会前の説明会 7/5 (水) 15:30～浅間会館 7/14(金) // ~東会館 7/18(火) // ~中込会館 7/21(金) // ~浅科会館 7/24(月) // ~野沢会館 7/25(火) // ~駒の里ふれあいセンター 7/31(月) // ~コスモホール ○説明会のみ開催 7/29(土) 10:00～駒の里ふれあいセンター // 14:00～浅間会館 8/8 (火) 19:00～野沢会館 8/10(木) 19:00～創錬センター	市	
2	7月29日	浅間会館	その他	すでに9月議会への議案提出が決まっているが、変更はあり得るか。	報酬のアップについて現時点で説明をする中で、矛盾がない限りは、手続き上の問題もないことから、このまま提出する。	市	
3	7月29日	浅間会館	その他	なぜ今回10時からの説明会があるのか。また、コスモホールでの説明会は市政懇談会前の開催となるか。	様々な市民の生活スタイルがあることから、午前中の開催を設けるため、10時開催を設定した。 また、コスモホールでは市政懇談会前の開催となる。	市	
4	8月8日	質問用紙にて提出	その他	説明会のライブ配信について市長が音声でTwitter配信しているように、市においては、ライブ映像を配信ができないか。また、その映像を繰り返し見ることができるようにはどうか。	説明会最終日、8月10日開催会場(市民創錬センター)の説明映像を市ホームページにおいてご覧頂けるよう対応する。 また、市内7地区の市政懇談会にあわせて開催した市民説明会は、佐久ケーブルテレビにおいてその映像が放送(8/13～9/15)がされる予定。	市	
5	8月8日	質問用紙にて提出	その他	説明会の時間配分について説明会の時間が質疑を含めて1時間となっているが、時間内に多くの質疑ができるように、市と議会の説明は各5～10分にして、質問時間を確保してはどうか。あわせて、質問希望者を確認し、一人あたりの質問時間を配分したらどうか。	説明時間については、パワーポイントを使いながら極力時間短縮を図っており、説明内容も各会場の平等性が担保できるように努めている。 ご参加される皆様のご予定等もあることから、あらかじめ質疑の時間をお伝えし、できる限り多くの方に発言頂くよう進行している。 また、前回までのご質問・ご意見をQ&A形式の一覧表にして配布し、議論の後戻りを防ぐとともに、時間内に質問ができなかった方には、事前に配布した質問用紙にて質疑を記載していただき、後日回答するとともに、ホームページにも公表している。	市	

議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 意見・要望等

【その他】

(説明会での提示資料、及び発言に基づき作成しています)

No.	月日	会場	カテゴリ (報酬・定数)	質問・意見等内容	市・議会の考え方	回答者 (市・議会)	備考
6	8月8日	質問用紙にて提出	その他	手話・要約筆記について説明会中に、手話条例の説明があったが、説明会では手話等の対応をしていない。耳や目が不自由な方に対して、配慮すべきではないか。	講演会や大会等において手話等が必要と想定される、また参加者から事前に要望を頂いた場合に対応している。今回の説明会においても手話等を望まれる方から事前にご連絡を頂いた際には、可能な限り対応させていただく。	市	
7	8月10日	市民創練センター	その他	令和3年度の市長選挙、市議会選挙は無投票であったため、選挙公報の配布がなかった。公約が見れないので市民としてチェックができない。このことについてどのように考えるか。	公約は選挙公報に載ったものだけが公約ではない。演説で話した内容、ツイッターで発信した内容なども公約と考える。市ホームページの令和3年度佐久市議会第2回(5月)臨時会招集あいさつや、後援会ホームページに公約を掲載しており、選挙公報の代わりになると考えられることから、皆さんの税金を使って改めて広報の配布をする必要はないと考える。	市	